

教員採用試験

合格者インタビュー

今回の記事は、小学校教諭の採用試験に合格された二人の先輩のインタビューです。

M先輩は小学校から大学まで野球を、N先輩は中学校から大学までバレーとバドミントンに携わっており、本格的な勉強は大学に入ってから始めました。けっして勉強が得意だったわけではないですが、本当によく頑張ったと思います。面接練習では、これまでの部活で培われた毅然とした姿勢が伝わってきて、「きっと合格できる!」と教員陣も熱くなりました(^▽^)/

M先輩



野球少年が教師に👏

Q:大阪府の小学校の教員採用試験合格です。

1次試験は3年生で受験されたのですよね。

3年生で1次試験（筆記）は突破していました。勉強に自信がなかったので、とにかく過去問を解きました。1次試験の合格は奇跡だと思いました！！

Q:2次試験の面接の突破の鍵は？

大学の先生方とにかく面接練習を見てもらい、何度も修正して、自分らしく堂々と面接を受けることができました。理科の模擬授業では自分らしさを出すことができました。

Q:島根県の小学校教員採用試験に合格ですね。

地元の島根で小学校の先生になることができる！やったー！とガッツポーズしました。大阪で4年間頑張ってよかった。この大学に入学してよかったと実感しました。

Q:面接はどのように乗り越えましたか？

大学の面接講座の先生とやり取りを重ねるうちに、どんどん自信がついてきて、本番の試験では「絶対受かる」という気持ちになっていました。緊張の中、自分らしさが出せたのは、「褒めて伸ばしていただいた」からだと思っています。

N先輩



島根から大阪、そして島根に👏